

平成22年8月期 第3四半期決算短信

平成22年7月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 創通

コード番号 3711 URL <http://www.sotsu-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青木 建彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 出原 隆史

TEL 03-3248-0311

四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第3四半期の連結業績(平成21年9月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第3四半期	9,410	△11.5	1,108	△12.6	1,154	△10.5	728	15.0
21年8月期第3四半期	10,628	—	1,268	—	1,290	—	633	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第3四半期	174.15	—
21年8月期第3四半期	14,972.28	—

平成21年6月1日付けで普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
22年8月期第3四半期	14,625	—	11,932	—	80.3	—	2,805.87	
21年8月期	15,331	—	11,499	—	73.8	—	2,704.28	

(参考) 自己資本 22年8月期第3四半期 11,743百万円 21年8月期 11,318百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期	—	—	—	60.00	60.00
22年8月期	—	—	—	—	—
22年8月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

21年8月期期末配当金の内訳 普通配当50円00銭、ガンダム30周年記念配当10円00銭

3. 平成22年8月期の連結業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,600	△9.5	1,480	△4.6	1,500	△4.8	850	5.4	203.09

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年8月期第3四半期	4,300,000株	21年8月期	4,300,000株
② 期末自己株式数	22年8月期第3四半期	114,700株	21年8月期	114,700株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年8月期第3四半期	4,185,300株	21年8月期第3四半期	42,335株

平成21年6月1日付けで普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しておりますが、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内外の政府主導による景気刺激策や在庫調整に伴い一部に景気持ち直しの兆しは見られるものの自律性に乏しく、また欧州の国々の財政悪化とソブリンリスクの顕在化により新たな金融不安が発生し、円高の進行、国内雇用情勢の悪化及び世界景気の減速懸念等、依然として先行き不透明のまま推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、中核事業であるアニメーション番組のプロデュースにおいて、より良い作品の企画・放送枠の提案により、新たなスポンサー開拓を含めた営業活動に注力するとともに、新たな二次利用の市場を開拓し、アニメーションキャラクターの著作権ビジネスを拡大するという方針のもと、事業展開を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,410百万円（前年同期比11.5%減）、営業利益1,108百万円（前年同期比12.6%減）、経常利益1,154百万円（前年同期比10.5%減）、四半期純利益728百万円（前年同期比15.0%増）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は、次のとおりであります。

（メディア事業）

メディア事業におきましては、4月の番組改編期より「SDガンダム三国伝 Brave Battle Warriors」「ジュエルペット〜ていんくる」等の新番組のプロデュースを行いました。スポンサーの新規番組に対する投資には慎重な傾向が続いており、当社の制作出資、製作委員会の組成・運営事業も期初計画の10作品から6作品と大きく下回る結果となりました。また、取扱いを含めたプロデュース作品数についても期初計画の15作品から10作品と減少し、メディア事業の売上高減少の主な要因となっております。

また、広告・プロモーションにおいては、「機動戦士ガンダム(First GUNDAM)30周年」のイベント及び販促キャンペーンに引き続き、「ガンブラ30周年」に連動したイベント及び販促キャンペーンの事業展開を行うことで前年同期の売上高は増加しております。

就職情報事業を行う子会社・株式会社ジェイ・ブロードについては、新卒採用の大幅な減少により、前年同期に比べ採用広告収入が大きく減少するとともに、営業利益を押し下げる主な要因となっております。

この結果、メディア事業の売上高は6,719百万円（前年同期比13.4%減）、営業利益174百万円（前年同期比29.0%減）となりました。

（ライツ事業）

ライツ事業におきましては、前年同期に比べゲーム等の大型案件はなかったものの、主力の「ガンダム」シリーズ、「ひぐらしのなく頃に」シリーズ及び「咲-Saki-」等の商品化による著作権収入は堅調に推移いたしました。

この結果、ライツ事業の売上高は1,757百万円（前年同期比7.1%減）、営業利益902百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

（スポーツ事業）

スポーツ事業におきましては、WBCアジアラウンドのスポンサーという大型案件のあった前年同期と比べ反動減はありましたが、新規の球場看板広告の受注等により、期初の計画通り順調に推移しております。

この結果、スポーツ事業の売上高は934百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益102百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ706百万円減少し、14,625百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加1,221百万円、売上債権の減少1,481百万円及び投資有価証券の減少113百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,140百万円減少し、2,692百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少1,147百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ433百万円増加し、11,932百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加477百万円等であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,221百万円増加し、9,419百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,129百万円（前年同期は649百万円の獲得）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,242百万円、売上債権の減少額1,481百万円、仕入債務の減少額1,147百万円及び法人税等の支払額387百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は365百万円（前年同期は145百万円の使用）となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入380百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は273百万円（前年同期は530百万円の使用）となりました。主な要因は、配当金の支払額251百万円等であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

メディア事業において、アニメーション番組のプロデュース作品数の減少及び子会社・ジェイ・ブロードの需要縮小による売上高減少の要因はありますが、「ガンプラ30周年」のイベント等による収入でカバーできるものと予想しております。

この様な計画のもと、当期の見通しといたしまして、連結売上高は14,600百万円、営業利益は1,480百万円、経常利益1,500百万円、当期純利益850百万円を予想しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

該当事項はありません。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,419,614	8,198,039
受取手形及び売掛金	1,837,865	3,319,228
有価証券	—	187,969
商品	579	381
仕掛品	2,808	18,145
貯蔵品	4,659	6,535
繰延税金資産	48,110	88,525
その他	216,542	395,229
貸倒引当金	△31,781	△127,056
流動資産合計	11,498,398	12,086,998
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	57,638	61,119
車両運搬具（純額）	2,183	3,177
工具、器具及び備品（純額）	15,841	16,917
土地	322,711	322,711
有形固定資産合計	398,374	403,926
無形固定資産	78,468	93,198
投資その他の資産		
投資有価証券	2,041,730	2,155,062
繰延税金資産	303,007	280,774
その他	306,749	311,975
貸倒引当金	△1,180	—
投資その他の資産合計	2,650,306	2,747,812
固定資産合計	3,127,150	3,244,937
資産合計	14,625,549	15,331,935

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,819,487	2,966,720
短期借入金	—	20,000
未払法人税等	200,556	126,427
賞与引当金	20,800	35,371
その他	139,001	164,994
流動負債合計	2,179,846	3,313,513
固定負債		
退職給付引当金	75,252	78,028
その他	437,515	441,282
固定負債合計	512,768	519,310
負債合計	2,692,614	3,832,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,750	414,750
資本剰余金	391,240	391,240
利益剰余金	11,394,661	10,916,919
自己株式	△262,407	△262,407
株主資本合計	11,938,243	11,460,501
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△194,822	△142,291
評価・換算差額等合計	△194,822	△142,291
少数株主持分	189,513	180,900
純資産合計	11,932,934	11,499,110
負債純資産合計	14,625,549	15,331,935

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)
売上高	10,628,876	9,410,603
売上原価	8,512,351	7,603,168
売上総利益	2,116,525	1,807,434
販売費及び一般管理費	847,796	698,458
営業利益	1,268,728	1,108,976
営業外収益		
受取利息	2,363	2,525
受取配当金	15,079	21,297
持分法による投資利益	4,530	11,897
匿名組合投資利益	2,011	3,766
投資事業組合運用益	10,244	7,516
その他	2,921	4,370
営業外収益合計	37,150	51,375
営業外費用		
支払利息	776	97
支払手数料	8,444	—
上場関連費用	6,228	5,678
その他	73	1
営業外費用合計	15,522	5,778
経常利益	1,290,356	1,154,574
特別利益		
貸倒引当金戻入額	164	94,094
投資有価証券売却益	140	15,668
特別利益合計	304	109,762
特別損失		
固定資産除却損	1,516	176
投資有価証券売却損	—	12,880
投資有価証券評価損	102,780	8,040
会員権評価損	2,886	550
特別損失合計	107,183	21,646
税金等調整前四半期純利益	1,183,478	1,242,690
法人税、住民税及び事業税	503,383	459,165
法人税等調整額	23,068	42,906
法人税等合計	526,452	502,071
少数株主利益	23,174	11,758
四半期純利益	633,851	728,859

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,183,478	1,242,690
減価償却費	32,016	31,929
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△164	△94,094
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,164	△14,571
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9,624	△2,775
受取利息及び受取配当金	△17,442	△23,823
支払利息	776	97
持分法による投資損益 (△は益)	△4,530	△11,897
投資有価証券評価損益 (△は益)	102,780	8,040
売上債権の増減額 (△は増加)	304,977	1,481,363
たな卸資産の増減額 (△は増加)	23,530	17,015
仕入債務の増減額 (△は減少)	△281,734	△1,147,232
その他	218,250	6,820
小計	1,569,398	1,493,561
利息及び配当金の受取額	17,499	23,780
利息の支払額	△654	△73
法人税等の支払額	△936,792	△387,454
営業活動によるキャッシュ・フロー	649,451	1,129,813
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△90,031	—
有形固定資産の取得による支出	△1,885	△1,606
無形固定資産の取得による支出	△20,580	△15,459
投資有価証券の取得による支出	△100,900	△5,700
投資有価証券の売却による収入	61,300	380,924
その他	7,005	7,261
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145,091	365,420
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△54,000	△20,000
自己株式の取得による支出	△213,437	—
配当金の支払額	△256,680	△251,106
少数株主への配当金の支払額	△6,383	△2,553
財務活動によるキャッシュ・フロー	△530,500	△273,659
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△26,140	1,221,574
現金及び現金同等物の期首残高	7,897,303	8,198,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,871,163	9,419,614

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)

	メディア事業 (千円)	ライツ事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,761,898	1,890,706	976,271	10,628,876	—	10,628,876
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,761,898	1,890,706	976,271	10,628,876	—	10,628,876
営業利益	245,607	976,294	113,757	1,335,660	△66,931	1,268,728

当第3四半期連結累計期間(自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)

	メディア事業 (千円)	ライツ事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,719,156	1,757,122	934,323	9,410,603	—	9,410,603
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,719,156	1,757,122	934,323	9,410,603	—	9,410,603
営業利益	174,320	902,877	102,473	1,179,670	△70,693	1,108,976

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な品目

- (1) メディア事業……テレビ番組提供・テレビ広告・アニメーション作品制作・採用広告
- (2) ライツ事業……商品化権・ビデオ化権・番組販売権
- (3) スポーツ事業……球団グッズ販売・球団スポンサード・球場看板広告

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

該当事項はありません。

② 受注実績

該当事項はありません。

③ 商品仕入実績

当第3四半期連結累計期間の商品仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)	前年同四半期比 (%)
スポーツ事業 (千円)	90,717	132.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)	前年同四半期比 (%)
メディア事業 (千円)	6,719,156	86.6
ライツ事業 (千円)	1,757,122	92.9
スポーツ事業 (千円)	934,323	95.7
合計 (千円)	9,410,603	88.5

(注) 1. 前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
株式会社バンダイ	1,275,502	12.0	966,479	10.3
株式会社バンダイ ナムコゲームス	1,395,768	13.1	—	—
株式会社テレビ東 京メディアネット	1,351,712	12.7	—	—

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。